

公 表 日

平成30年10月25日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成30・31年度 白川管内利水関連施設調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	平成30年10月25日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	37,994,400円(税込み)
予定価格	37,994,400円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	白川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成30年10月26日
履行期間(至)	平成32年 1月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成30・31年度 白川管内利水関連施設調査検討業務
2. 履行場所 白川水系
3. 契約の相手方 住所：福岡市中央区大名2-4-12
会社名：株式会社建設技術研究所九州支社
電話：(092) 714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川下流域に存する利水堰に関して、白川水系河川整備基本方針に基づく将来計画に対する段階整備の検討として、現在の固定堰から将来的な可動堰への改築に向けて、周辺へ予想される影響検討や改築方式の比較検討、一部の堰改築予備設計を行い、今後の河川整備の基礎資料とするものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備 . . . 1式
- ・資料収集整理 . . . 1式
- ・現地踏査 . . . 1式
- ・堰改築に伴う影響検討 . . . 1式
- ・堰改築における総合的な比較検討 . . . 1式
- ・予備設計 . . . 1式
- ・景観カルテの作成 . . . 1式
- ・報告書作成 . . . 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、配置予定技術者の資格及び実績は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」、「その他」における工程表の工夫や有益な代替案として堰改築に向けた影響検討方法が記載されていること、及び特定テーマの「白川の特性を考慮した、白川下流における堰改築（可動堰）にあたって配慮すべき事項について」に対する技術提案について与条件との整合性、本業務を遂行するにあたっての有効性について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長